

大牟田市立銀水小学校

1 本校ESDの特徴

本校では、地域教育力の効果的活用を図りながら、学習活動として学年の実態に応じた単元構成の工夫をしながら、環境・エネルギー、地域遺産・世界遺産、人権・福祉の学習などを重視した取組を行っている。特に低学年においては、児童の興味関心を大切に、楽しく遊びながら、身近な自然環境に関わっていかせるようにしている。3年生以降から人権・福祉教育として、「人」とのつながりを通して、共生社会の生き方について考えるようにしている。特に5年生においては、地域にある福祉施設で暮らすお年寄りの方々との交流を通して、その関わり方について考えをもつとともに、自分の生活と関連付けて考えながら、学習したことを全校児童に発信していくようにしている。

このように、本プロジェクトでは、地域と直接関わる体験を重視し、その特色を活かしながら地域に対する豊かな感性を養うとともに、郷土の文化や生活に親しみ、郷土を大切にしようとする態度を育てるようになっている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

【環境・エネルギー】

- 1年生「ひとつぶのたねから」・2年生「ぐんぐんのびろ」
(生活科 4月～12月 1年10時間、2年生14時間)
- 3年生「生きものはかせになろう」 (総合的な学習の時間 33時間)
- 4年生「めざせエコロジー博士」 (総合的な学習の時間 21時間)

【地域・世界遺産】

- 2年生「まちたんけん」 (生活科 5月・11月・1月・2月 42時間)
- 4年生「守っていこう郷土の宝」 (総合的な学習の時間 9月～12月 24時間)
- 5年生「自国文化に触れよう・銀水太鼓」 (総合的な学習の時間 25時間)
- 6年生「守っていこう郷土の宝・世界遺産」 (総合的な学習の時間 11月～12月 20時間)

【人権・福祉】

- 1・2年生「みんなでなかよし」 (生活科 9月～3月 1年19時間、2年生16時間)
- 3年生「心を伝えて」 (総合的な学習の時間 9月～3月 35時間)
- 5年生「共に生きよう銀水」 (総合的な学習の時間 4月～10月 36時間)
- 6年生「ふみだそう 夢への第1歩」 (総合的な学習の時間 4月～7月 10時間)

3 特徴的な活動事例

<3年生 総合的な学習の時間 単元名「めざせ、生きものはかせ」>

(1) 目標

- 銀水小学校の樹木について調べたり、身近な昆虫・小動物を飼育して調べたりする活動を通して、分かったことを生きもの図鑑にまとめ、発表することができるようにする。
- 身近な生きものに関心を持ち、大切に生活していこうとする思いをもつことができるようにする。

(2) 実践の展開

- ①銀水小学校の樹木について知っていることを話し合い、課題を設定し、学習計画を立てる。
(4時間)
- 銀水小学校の中にはいろいろな種類の樹木があることについて知り、単元の見通しをもつ。

○実際に樹木を観察し、特に自分が調べてみたい木を決め、調べ方について話し合う。

・観察 ・インタビュー ・図鑑 ・インターネット など

②校庭の木、草花、昆虫について調べる。(8時間)

○調べたい木について調べる。・名前 ・特徴 ・育て方 など

○「樹木教室」でG Tの柿川先生にから話を聞く。

・観察 ・触る ・嗅ぐ ・説明を聞く など

③調べたことや分かったことをまとめる。(5時間)

○まとめ方を考える。 ・だれに ・どのような形で など

○自分が調べたいと決めた木について、分かったことをまとめる。

○柿川先生に教えていただいたことについて、まとめる。

④まとめたことを発表する。(3時間)

⑤自分の植木鉢に育てたい植物を植え、育てる。(2時間)

(3) 子どもたちの様子

改めて銀水小学校の校庭を見て回ること、たくさんの種類の木々に囲まれて生活していることに気づいた。観察する中で木についている白い札に着目し、知らない名前・よく聞く名前を見つけたり、木の高さや葉の形・色・大きさ、幹を触った感じなどをつかんだりして、さらに知りたいという気持ちを高めていった。

お家の方にインタビューしたり、図鑑やインターネットで調べたりし、分かったことを増やしていった。自分なりに調べた後で、樹木や草花、昆虫に詳しいG Tの先生に出会い、実際に見て回りながら説明を受けることで、調べたことの確認や新しい発見を得ることができた。分かったことや気づいたことをまとめることで、自分の考えが整理されていった。自分の植木鉢には、自分が育ててみたい植物を決めて植え、草取りや水やり、肥料をあげるなど大切にお世話をしている。

また、校庭にある木の名前や場所が友だちとの話の中で出てきたり、虫を捕って育てたりするなどして、身近な生きものにますます関心が高まってきている。

(4) 成果と課題

<成果>

○毎日、銀水小学校に通っている時に、休み時間に外へ出る時に、校庭にある樹木は見ているように見えないことに気づくことができた。意識させることや観点をもって観察することで、全体をぼやっと見ることから、部分を細かく見ることに見方が変わること気づいた。また、樹木や草花に詳しい方の話を聞くことで、知らないことが分かる喜びやますます生きものを身近に感じる事ができることが分かった。

<課題>

○自分が調べたい木について図鑑を活用する際に、育ち方など詳しく載っていない木があったり、人数に対して本の数が少なかったため、調べる材料を調える必要がある。

4 本年度の成果と課題

○成果

・「環境・エネルギー」における3年生「生きものはかせになろう」では、身近な昆虫を飼育したり、草花を育てたりする活動から、それらの成長や変化に関して様々な環境の影響に目を向けながら興味を持たせながら実践させていくことができた。

○課題

・5年生「共に生きよう銀水」お年寄りとの交流計画において、久福木サン荘訪問の時期のその単元計画の見直しと改善。

